

# 登 山

専門委員長 山 田 修



## 1. 県高校総体

県高校総体は、道の駅ことなみ～竜王山～川奥集会場のコースを採用し、

6月4日から6月6日までの3日間の

日程で行われました。このコースは、今年度行われる四国全国総体のコースを一部採用しました。男子7校、女子3校の参加で、四国大会及びインターハイの出場権を懸けて開始されました。

1日目はつるぎ高校に集合し、諸会議と開会式の後、テント設営、知識、天気図、炊事などについての審査を実施しました。天候にも恵まれ、予定通りの日程を消化することができました。ただ、昨年度の新人大会同様、新型コロナウイルス感染防止のために、テントは収容人数の半分以下で制限し、その分、テントの数を増やし、距離をとっての就寝となるようにしました。

2日目は4時に起床し、バスで道の駅ことなみへ移動後、登山行動が開始されました。今年のコースは、昨年同様、インターハイで使用される距離の長い、傾斜の厳しいコースでした。このような状況の中でも選手達は粘り強く行動し、ほとんどがゴールである川奥集会場まで怪我なく下山できました。ロングコースを歩き終え選手・監督とも安堵の表情を浮かべていました。いつもの大会と比べると簡素な夕食を食べ、リーダー会議後、明日の行動に備え就寝しました。

最終日は清月屋敷から行動を開始し、高越山のピストン行動でした。このコースは大会3日目にしては、距離が長く、累積標高の大きいコースで、選手たちは最後まで油断できない戦いを強いられていました。大会がすべて終了し、清月屋敷で閉会式、表彰式が行われました。結果は男子は城ノ内中等教育学校が4年ぶり9回目の優勝、女子は池田高校が3年連続17回目の優勝でした。四国大会には男子が池田・城ノ内・つるぎ、女子が池田・脇町の計5パーティーが出場となりました。

## 2. 四国高校選手権

6月17日から19日まで、第64回四国高等学校登山選手権大会が徳島県で開催されました。

1日目はつるぎ高校に集合し、諸会議と開会式、知識、設営、炊事審査を行いました。炊事審査に関しては感染予防対策で簡素なドリンクやスープを作るだけの審査としました。そして、やはり感染予防対策でテント泊はなくし、宿泊先である清月屋敷にバス移動して1日目を終えました。

2日目は5時に起床、バスで道の駅ことなみに移動し、8時に行動開始しました。コースは今年度行われる四国全国総体コースのひとつ竜王山コースです。このコースは急登もあるロングコースでしたが、大きなトラブルもなく山行を終えることができました。

大会3日目は清月屋敷からピストンできる高越山ピストンコースで、四国大会の3日目のコースとしては長く厳しいコースでした。この日は、日差しも強く気温も高くなったため、選手達は暑さとの戦いも強いられることになりました。多少終了時間は遅くなりましたが、ほとんどのチームが完歩し、コロナ禍の四国大会は無事終えることができました。

結果は、男子は城ノ内中等教育学校が、女子は丸亀高校が見事優勝を果たしました。徳島県勢は、男子城ノ内優勝、池田が2位、つるぎが10位で、女子池田が2位、脇町が5位でした。

## 3. インターハイ

インターハイは8月5日から8月9日まで香川県まんのう町の竜王山山城で開催され、香川県最高峰の竜王山(1059.8m)や笠形山(762.2m)、大川山(1042.8m)が大会コースになりました。昨年は、新型コロナウイルス感染防止のために1日縮小した日程でしたが、今大会は例年通り4泊5日の日程に戻しました。ただし、炊事、テント泊のない大会としました。それでも、感染者が複数名出てしまいましたが、香川県の役員の方々の御尽力の賜物で、立派に大会を終えることができました。

成績はA隊(男子)城ノ内中等教育学校が14位となり、

前回の池田高校の33位より大きく順位を上げることができました。B隊（女子）池田高校は8位と前回の15位よりおおきく順位をあげました。今回の反省を生かして、来年度はもっと上位に食い込めるよう徳島県がOneTeamとなって向上していきたいと思ひます。

#### 4. 県高校選手権

夏も終わり3年生が引退し、新メンバーで臨む登山選手権大会が、つるぎ高校を幕営地として9月23日より2日間行われました。

この大会は、高校登山競技の基本を学ぶための研修も兼ねている大会でしたが、今回も密を避けるために研修は行わず、審査のみとしました。知識審査は、全員を一室に入れると密集状態になるため、2グループに分けて、入れ替え制で実施しました。

2日目は、4時起床後、バスで見ノ越駐車場に移動し、一ノ森、剣山山城での山行で、読図、装備、行動記録、マナーの審査を行いました。選手権大会ではあまり行わない長距離バス輸送でしたが、剣山山城を歩かずに今年を終える選手がかわいそうという意見を尊重しました。結果は男子はつるぎ高校が5年連続8回目の優勝、女子は池田高校が2年連続10回目の優勝となりました。

#### 5. 県高校新人登山

新人大会は11月19日より2日間、阿南光高校を幕営地として、鍛冶ヶ峰・津乃峰山コースで行われました。このときはコロナ禍はだいたいぶ落ちており、1日目の設営審査、炊事審査は予定通り行えました。ただ、油断することなく、テントはやめて、体育館で距離をとっての就寝としました。2日目の行動は、前年度の新人大会に引き続き、制限時間は厳しく設定しましたが、各チームしっかり対策しており、すべてのチームが目標時間内に登頂することができました。結果は男子はつるぎ高校が3年ぶり5回目の優勝、女子は池田高校が2年連続8回目の優勝となりました。

今年度も、校務でお忙しい中、大会運営に携わり参加していただきました各校の顧問の先生方、御協力ありが

とうございました。各校とも部員獲得で苦勞されている中、おかげさまで、多くの選手に恵まれ、活気のある大会を開催することができました。

最後になりましたが、会場として施設を使わせていただいたつるぎ高校、阿南光高校にお礼申しあげます。

#### ◎県高校総体 令 4. 6. 4～6

於 美馬市 竜王山・高越山コース

##### <団体男子>

1位	城ノ内	98.5点
2位	池田	98.1点
3位	つるぎ	97.6点

##### <団体女子>

1位	池田	98.1点
2位	脇町	93.7点
3位	徳島市立	65.9点

#### ◎四国高校選手権 令 4. 6. 17～19

於 美馬市 竜王山、高越山コース

##### <団体男子>

1位	城ノ内	99.0点
2位	池田	97.6点
10位	つるぎ	91.8点

##### <団体女子>

2位	池田	98.0点
5位	脇町	95.2点

#### ◎インターハイ 令 4. 8. 5～9

於 香川県まんのう町 竜王山、笠形山、大川山山城

団体男子 (A隊)	城ノ内	97.2点	14位
野田知秀・弘田貴也・橋本和樹・森岡賢祐			

団体女子 (B隊)	池田	98.5点	8位
郷田聖奈・佐伯美桜・大西ヒカル・山口佳乃			

◎県高校選手権 令 4. 9. 23・24

於 三好市東祖谷 一の森, 剣山山城

<団体男子>

- 1位 つるぎ
- 2位 城ノ内
- 3位 池田

<団体女子>

- 1位 池田

<個人男子>

- 1位 川人 海晟(つるぎ)
- 2位 吉田 生(城ノ内)
- 2位 井川 京介(つるぎ)
- 4位 多田 夏耆(城ノ内)
- 5位 森岡 賢祐(城ノ内)

<個人女子>

- 1位 山口 佳乃(池田)
- 2位 大西ヒカル(池田)
- 3位 近藤 青歌(池田)
- 4位 佐藤 沙羅(脇町)
- 5位 井上 蒼衣(池田)



登山行動の様子 城西高校男子 (県高校総体)

◎県高校新人大会 令 4. 11. 19・20

於 阿南市 鍛冶ヶ峰・津乃峰山

<男子団体>

- 1位 つるぎ 95.0点
- 2位 城ノ内 94.7点
- 3位 池田 93.2点

<女子団体>

- 1位 池田 98.0点

<個人男子>

- 1位 栗本 貴翔(城ノ内)
- 2位 井出 丈翔(徳市)
- 3位 五島 知紀(池田)

<個人女子>

- 1位 安部 陽菜(城ノ内)
- 2位 井上 蒼衣(池田)
- 3位 佐藤 沙羅(脇町)



雲海を背に集合写真 つるぎ高校男子 (県高校登山選手権)



休憩の様子 脇町高校女子 (県高校総体)



設営の様子 徳島市立高校男子 (県高校新人登山)